

育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

育連理事長に就任して

理事長 新井 久三



今回の理事会・評議員会で吉井連盟長のあと理事長に就任いたしました子ども会連盟の新井でございます。どうぞよろしくお願い致します。

川崎市青少年育成連盟は昭和21年、戦後の動乱期に青少年の健全育成を目的に発足し、日本ボーイスカウト川崎地区協議会、ガールスカウト川崎市連絡

会、川崎海洋少年団、(社)川崎市子ども会連盟の4団体で構成しています。今年は、創立70周年を迎えましたので、それを記念して記念事業等を計画しておりますので、皆様のご協力をお願いします。

さて、青少年育成連盟は、中高生リーダー研修と青少年国際交流事業を主な活動としています。その他にも成人の日を祝う集い、青少年フェスティバル事業のお手伝いをしています。青少年国際交流事業は、これから成人になる青少年が違う環境で育っている他国の青少年との交流を通じて、日本とは何かを見つめ直すのによい機会になっております。中高

生の研修事業は、現代社会の高度化、娯楽の多種多様化等により青少年の社会参加が脆弱になっており行政においても子育てに力を入れており、対策を進めております。そのような状況の中、青少年育成連盟としては特に子どもと大人の間期に当たり、精神的にも不安定な中高生に対して、より年齢が近い大学生や若い社会人のボランティアが研修を補助・指導する事により、中高生と同じ目線でリーダー研修の充実を図っており、さらなる発展を目指しています。

4団体はそれぞれ自主独立の組織として受益者負担を原則としておりますが、近年社会の多様なニーズに応える為に厳しい運営が続いている状況です。しかし、全ての子ども達に多種多様な生き方を選択するチャンスを平等に与えなければなりません。家庭の貧困等により、それが奪われるようなことがあってはなりません。そのことが私達大人が先達から受けついで次に引き継ぐ為に最低限必要なことであると思います。

最後に4団体が協力して青少年の健全育成に努力していくことをお誓いして挨拶と致します。

第25回ボルチモアー川崎市スカウト交流

ボーイスカウト川崎地区協議会 スカウト交流国際委員長 長谷川 博之

交流開始以来31年目となる2016年7月24日の夕刻、7名のスカウトと4名の指導者が羽田空港に到着した。今年は13家庭のホストファミリーが彼らをゲストとして迎え、2週間の活動が開始された。24日の歓迎パーティーを皮切りに、翌25日には福田市長への表敬訪問が実施され、市長へボルチモア市長からの親書が手渡された。市長はじめ多くの方々に温かく迎えられたことは彼らの心に残ったものと思う。

最大のイベントであるFunny Bear Camp (合同富士登山・キャンプ) は天候が心配されたが、大きな問題もなく大半のメンバーが力を合わせ富士山頂に登頂し、加えて無事合同キャンプも終了

できたことは喜ばしいことであった。その後、観光や各種体験プログラムをこなし、8月6日にボルチモア側主催の「SAYONARA パーティー」が黒川野外活動センターで開催された。この行事のフィナーレとなるこのパーティは100名を超す来場者でにぎわい、アメリカスタイルのランチをいただきながら楽しいひと時を過ごした。両市の友情の懸け橋でもあるこの第25回交流行事は、お互いの再会を約束しながら彼らは無事終了することができた。

この紙面をお借りして、ご支援くださった川崎市を含む関係者の皆様へお礼申し上げます。



川崎市子ども会連盟 野球大会に初めて出場して

幸区子ども会連合会 戸手本町2丁目子ども会野球部 中村 慶一

新チーム始動の昨年秋の新人戦より、勝てない試合が続きました。春季大会にも優勝を目標に掲げ試合に臨むが、けが人の続出により準々決勝にて敗戦。『目指すは夏季大会優勝』とチームは更に団結し、練習、練習試合と一つ一つのプレー、態度にと野球に集中し、夏季大会に入りました。一戦一戦を選手たちは大きな声を出し集中し、勝利を積み重ね、決勝戦では更なる成長を感じさせてくれる様な数々のプレーで優勝することができました。

また、7月30日・31日の川崎市子ども会連盟野球大会でも、諦めない元気一杯の野球をし、3位入賞しました。

10月より始まる少年野球連盟の大会・秋の新人

戦に向け、更なる子ども達の成長に期待し、子ども達と全員野球で頑張ります。



梨狩りに行ったよ

8月28日、鷲沼の梨園でテンダーフットとブラウニーの合同集会を行いました。

32団 ブラウニー 田中 しおり
私は8月28日になしがりに行きました。なしをうまくとるコツは、紙袋がパンパンななしをえらんだら、まず、えらんだなしをもってきて、くきの方向の上に、上げることです。でもなしを下にひっぱると、なしのすみっこらへんがきずついてしまいます。なしがりですのようなことをしてみてください。

リーダーのなしを食べたらものすごくみずみずしくておいしかったです。でも、れなちゃんといっしょに来たからおいしかったです。あみちゃんがこれなくてさんねんだったけど、あみちゃん cameたら、いっしょに食べたいです。あみちゃんがこなくてもだいじょぶで、家でも食べたらとてもみずみずしくておいしかったです。

今日友だちが家に来てパーバーがおくってくれたなしをいっしょに食べました、そのなしもみずみずしくておいしかったです。



ガールスカウト神奈川県第32団・48団・12団

32団 ブラウニー かとう れな
わたしははじめて、なしがりに行きました。ふだんは32団のスカウトのかつどうだけですが、なしがりにはちがうテンダー、ブラウニーとのこうりゅうでした。とてもたのしかったです。つぎのかわさきしのテンダー、ブラウニーのこうりゅうにもさんかしたいです。



48団
テンダーフット
うらの かの
ドキドキしたけどたのしかった。なしがりできてうれしかった。



14団
テンダーフット
とくだ あかり
大きななしがとれてよかった。なしの発表会で一番になれてうれしかった。



14団
テンダーフット
わたなべ あやな
大きななしがとれてよかった。おいしかった。

第22回関東地区連盟大会が千葉県船橋港「SHIRASE」にて開催

川崎海洋少年団 井本 勝己

日本海洋少年団関東地区連盟大会が7月30日～31日に千葉県船橋港に係留中の「SHIRASE」にて開催されました。「SHIRASE」は、船名をローマ字表記にした南極観測船「しらせ」(1982年～2008年運行)です。

この「SHIRASE」に、静岡県清水団を含む関東地区の海洋少年団が集まり、日頃の訓練を競い友情の輪が結ばれました。

関東地区大会は、全国大会と隔年で実施されており、全国大会と比べ規模は小さくなりますが、団員は近隣の団員と密に接することができ、大変に貴重で楽しみにしている大会です。

団員同士、前回の大会で顔をあわせていたこともあって、すぐに打ち解けており、団を問わず年長の団員は年少の団員の面倒を見てあげており普段に所属する同じ団員と団が異なっても同じく接していました。

大会は、手旗信号受信・送受信競技、ロープ結索競技、カッター競技を実施しました。

手旗信号「受信競技」では、1分間で40文字のペースで送信され、100文字をすべて受信できるかを行います。送受信競技では、5人がチームとなり、伝言ゲームのように50文字を伝えていくものになります。

ロープ結索競技は、25種類の結び方の中から、当日に告げた10種類の結び方を時間内に的確に結びつけるものです。

カッター競技は、6人漕ぎカッターで400メートル走を競いました。

それぞれ大変な競技ですが、各団員も真剣に取り組む、前回よりも高得点であり、来年度の福岡市で行われる全国大会が楽しみになった結果でした。



GATC 川崎24期

ボーイスカウト川崎地区協議会 スカウト支援副委員長 井上 景

2015年8月29日～2016年5月8日の期間、GATC(ゴールデン アックス トレーニングコース)川崎24期が実施されました。ボーイスカウト川崎地区では、隔年でこのGATCを展開しています。対象はベンチャー隊(高校生年代)。普段は川崎市内に11ある“団”で活動しているスカウトたちが集まって、比較的規模の大きな活動を行います。

今年度は男子12名、女子4名、合計16名のス



カウトが応募。長期にわたるプログラムに参加しました。プログラムの前半は、交流を図ることを目的に、プロジェクトアドベンチャー(1泊2日)への参加や徹夜で歩くオーバーナイトハイク(小田原→沼津)を展開。後半は、グループに分かれて独自のプログラムを企画・実施をする「プロジェクト」を進めました。残念ながらプロジェクトについてはあまり結果を出すことができませんでした。スカウト同士の交流にはつながったようでした。そして、最終仕上げのプログラムは2泊3日の移動野営(大菩薩嶺)。キャンプ道具一式を持つてのハイキングです。

どのプログラムも普段経験することのできない大掛かりなもの。スタッフや関係指導者の協力のもと、無事すべてのプログラムを展開することができました。

今後もボーイスカウト川崎地区としては、ベンチャー隊・ローバー隊(大学生年代)の活動の活発化を図り、次世代の活動を支える若いリーダーたちの育成を進めていきたいと考えています。



子ども相撲大会 “はっけよい、のこった！”



多摩区子ども会連合会には、5つの地域(支部、部会)があり、それぞれ年間行事を活発に行っております。今回はその中の1つの伝統行事を紹介いたします。

去る6月26日に多摩区子ども会連合会稲田支部稲田部会主催の初夏恒例の第66回相撲大会が稲田小学校体育館で熱気と声援の溢れる中、盛大に開催されました。

堰、長尾、宿河原地区の13単会の幼児、小学生を対象とした男女別の大会です。参加児童数は約410名、運営役員及び保護者、来賓数は約300名です。競技の内容は個人戦(幼児年長～6年生)、3人抜き横綱戦(1部1・2年生、2部3・4年生、3部5・6年生のトーナメント戦。女子は1部4～6年生のみ)、地区別団体戦(1～6年生)の3種類です。

土俵は50年ぐらい前は学校の中庭に本格的な台形の土盛りをしたものでしたが、近年では安全面

多摩区子ども会連合会 大津博之

や天候を考慮し、7メートル角の白いマットと組み立て式硬質ゴム(ボルト止め)の土俵サークルです。

選手の恰好は男子は体育用短パンの上から「まわし」をつけ、上半身はだかです。頭には各単会のハチマキをします。女子も同様ですが、上半身は体育着等を着用します。

まず、大会を始めるにあたり、日本の国技、日本の古来からの神事として、神聖なる場を清める儀式を行います。ルールについては細かい規約を設けていますが、基本的な蹲踞(膝を折り、つま先立ちで腰を下ろした状態)に始まります。張り手、のど輪などの危険行為は禁じ手となり反則負けとなります。

競技は1対1の真剣勝負のため、悔し涙を流す子もいますが、勝っても負けてもお互いの健闘を称えあう正しい礼儀作法を教えています。

礼に始まり礼に終わることを学んでもらっています。



誰でも何でも相談できるよ！ ～相談窓口の紹介～

学校や子どものこと、家族のことなど、何か困ったことがあったら、気軽に電話で相談してみてもいいのではないでしょうか。

教育相談			
総合教育センター	24時間子供SOS電話相談	毎日24時間受付	TEL.522-3293
総合教育センター	子ども専用電話相談(土・日・祝日・年末年始除く)	月～金 9:00～16:30	TEL.844-6700
総合教育センター	一般電話相談(年末年始除く)	毎日 9:00～18:00	TEL.541-3633
		月～金 9:00～16:30	TEL.844-3700
総合教育センター	溝口相談室来所相談(土・日・祝日・年末年始除く/予約制)	月～金 9:00～17:00	TEL.844-3700
総合教育センター	塚越相談室来所相談(土・日・祝日・年末年始除く/予約制)	月～金 9:00～17:00	TEL.541-3633
総合教育センター	不登校家庭訪問相談(土・日・祝日・年末年始除く)	月～金 9:00～17:00	TEL.522-3534
教育委員会	ダイヤルSOS(土・日・祝日・年末年始除く)	月～金 9:30～17:00	TEL.200-3288
児童・青少年相談			
児童・青少年電話相談(祝日・年末年始除く)		平日 9:00～20:00	TEL.542-1567
児童相談			
こども家庭センター(川崎区・幸区・中原区担当)(中央児童相談所)	TEL.542-1234		
中部児童相談所(高津区・宮前区担当)	TEL.877-8111		
北部児童相談所(多摩区・麻生区担当)	TEL.931-4300		
いずれも、平日 8:30～17:00(祝日・年末年始除く)			
子どもの人権相談			
子どもあんしんダイヤル	TEL.0120-813-887(子ども専用)		
子ども相談電話	TEL.813-3110(大人の方)		
いずれも、月・水・金 13:00～19:00、土 9:00～15:00(祝日・年末年始除く)			
その他の相談			
川崎いのちの電話		毎日24時間受付	TEL.733-4343
児童虐待防止センター		毎日24時間受付	TEL.0120-874-124

発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10
生活文化会館(てくのかわさき)3階
TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、
川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社